

令和7年1月20日

熊本都市バス株式会社

島崎保田窪線における中扉を開けた状態で走行した事案についてのお詫び

この度、当社路線バスが中扉を開けた状態で走行した事案が発生いたしました。

当該路線バスにご乗車されたお客様をはじめ、当社ご利用のお客様、関係者の皆様に多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

今般の事態を厳粛に受け止め、乗務員に対して発車時の安全確認に対する指導、教育を徹底し、再発防止に向け全力を挙げて取り組み、信頼回復に努めて参ります。

本件につきましては、関係当局に報告を行っております。詳細は下記のとおりです。

記

1. 発生日時  
令和7年1月16日（木） 17時49分頃
2. 該当路線バス  
長嶺団地16時47分発 熊高正門前・桜町バスターミナル経由 荒尾橋 行き
3. 発生場所  
三賢堂前バス停～岳林寺バス停間
4. 状況  
17時49分頃、三賢堂バス停を発車した際、乗車口扉（中扉）が開いている状態で約65mを走行した。当時お客様は4名乗車であった。  
運転士からの報告で判明した。
5. 原因  
お客様乗車時における運転士の安全確認不足。  
乗車取り扱いを行った後、乗車口扉を閉じる操作を行わないまま発車した人為的ミス。
6. 再発防止策  
今般の事態を厳粛に受け止め、全運転士に対し発車時における扉操作及び確認の指導を強化し基本動作の徹底を図る。

以上